

すみた 議会だより



No.168

令和2年
1月24日

「今年も元気に、おいしいご飯を
食べられますように！」

《世田米保育園》 関連記事20p

空き家適正管理へ

若者・女性に選ばれるまち

町政課題に積極的な声

我が町政を問う (7議員が一般質問)

特集 昭和橋の架け替え

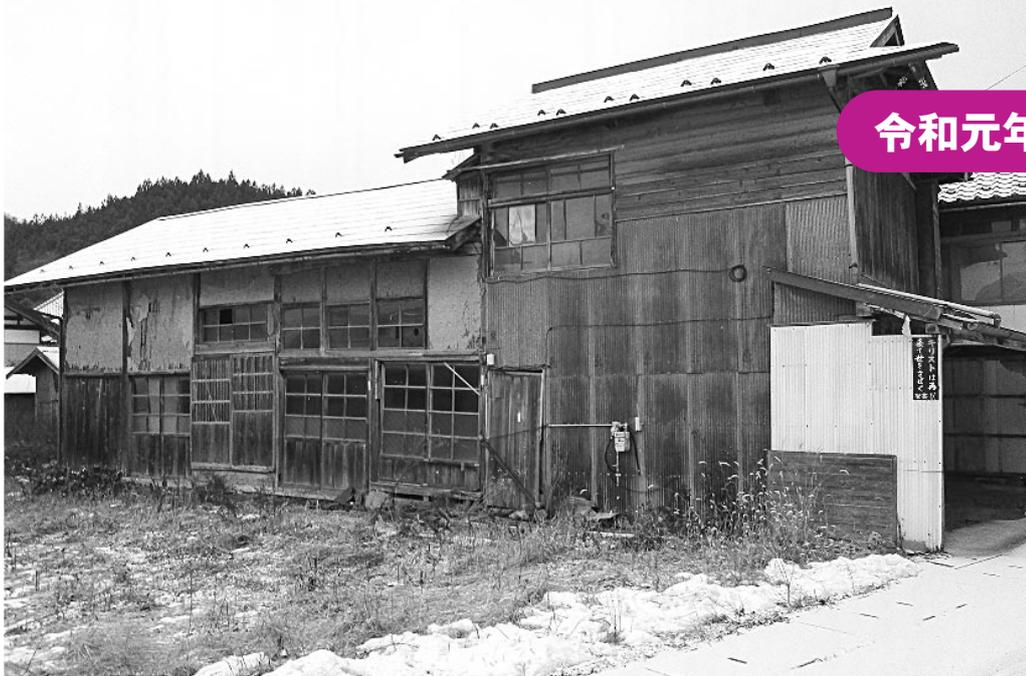
②

⑤

⑥

⑩

⑱



△放置される空き家の適正な管理に踏み出す条例を制定

空き家適正管理へ

条例制定

空家等の適正管理に関する条例

■ 条例制定の理由

「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき適正な管理が行われていない空き家等が防災、衛生及び景観等、町民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている。町民の生命、身体または財産を保護するとともに、その生活環境の保全を図り、町民の安全で安心な暮らしを実現するために条例を制定する。

緊急措置で「即時執行」も

問 空家等の適正管理の進め方は。
答 特定空き家対策も大事だが、空き家を増やさない取り組みと両面で取り組む。

問 行政代執行による解体をした場合の撤去費用の回収は。
答 所有者に請求できる。緊急に対応しな

問 行政代執行による解体をした場合の撤去費用の回収は。
答 所有者に請求できる。緊急に対応しな

ければならない場合は即時執行という措置となる。
問 所有者が不明の物件の対応は。
答 できる限り調査をしたい。

問 相続放棄された物件の対応は。
答 対応が難しいが、国の基準に照らして対応していく。

問 相続放棄された物件の対応は。
答 対応が難しいが、国の基準に照らして対応していく。

問 相続放棄された物件の対応は。
答 対応が難しいが、国の基準に照らして対応していく。

新年おめでとうございます

本年もよろしく願い申し上げます



住田町議会議員一同

対策協議会を設置

問 所有者の責務の確
認は。

答 空き家バンク登録
の推進や家屋管理
のアンケート調査を行っ
ている。適正な管理を考
える機会になるよう周知
していく。

問 空き家等対策協議
会の委員構成は。

答 法務や不動産、建築
など専門的な知識
をもつ様々な機関の方を
構成員として考えている。
空き家活用住宅改
修工事費が減額さ
れた理由は。

答 国の事業採択に
ならなかったこと。

空き家への入居希望相談
件数の落ち込みなどの課
題があり、空き家改修事
業を断念した。

問 今後の空き家活用計
画をどう考えるか。

答 空き家活用住宅は、
都市部からのUター
ン、町内での世帯分離な
どのニーズが考えられ
る。今後は、対象物件を
紹介し、入居希望を確認
後、改修して住環境を整
備する方向で利活用を進
めていく。

問 空き家バンク制度、
住宅リフォーム改
修改善事業などと整合性
をとりながら総合的に運

△改築を見合わせた第6分団第2部の屯所

営すべきだが。

答 住生活基本計画の策
定作業の中で、住宅
の住み替え、住民の動向を

調査している。移住や住民
の移動を踏まえて、住宅政
策を総合的に進めていく。

豚 豚コレラ侵入防止支援事業は
野生イノシシ侵入防止対策

問 豚コレラ侵入防止
緊急支援事業費補
助金の内容は。

答 ヨーロッパ、ロシア、
東アジアで蔓延して
いるアフリカ豚コレラの感
染拡大が心配されている。

今回は、豚コレラのウイル
スを媒介する野生イノシ
シの侵入防止対策のため、
養豚事業者が行う防護柵
の設置に補助するもの。
(国2分の1、県4分の
1、町8分の1を支援)

防 消防団組織再編を検討

問 消防施設(屯所)
の工事費が減額に
なった理由は。

答 第6分団第2部(天
嶽)に整備を計画し、
消防団より組織再編検討
の申し出があり、消防施
設整備を見合わせた。

ことから、地域の実情と消
防団組織再編の動きなど
地域との協議の中で判断
する。

問 曙、愛宕地域にあ
る消防屯所は、自
治公民館と併用してい
るが、改築をどう進めてい
るか。

答 消防団は、地域防災
力の中核(要であ
る。消防団員や協力事業
所の顕彰制度により、団
員確保を進め、郷土愛、地

問 消防団員確保にど
う取り組むか。

答 消防団員や協力事業
所の顕彰制度により、団
員確保を進め、郷土愛、地

域コミュニティを高める活
動に理解を求めていく。

問 情報通信基盤施設
利活用等検討委員
会の検討内容は。

答 防災、医療介護福祉、
農業、林業、教育、交
通の6項目に通信基盤が
生かされるか検討し、報
告書に取りまとめた。

台風19号
3900万円
災害復旧補正は

問 10月に発生した台
風19号の災害復旧
補正予算はいくらか。

答 避難所等の対応及
び災害復旧に係る
もの3900万円。内訳
は、災害復旧費3514
万円、職員手当等323
万円など。

問 杉など立木の倒木
により住民への危
害の恐れがある対応は。

答 常時、道路パトロー
ルをし、土地の所有
者と連絡調整を図りなが
ら随時伐採している。

☆令和元年度12月補正予算の主な事業

- 地域情報通信基盤施設電気設備工事費
- 子育て支援医療扶助費
- おがくずりサイクル施設解体工事費

- 豚コレラ侵入防止緊急支援事業費
- ふるさと納税返礼品代
- 土木災害復旧工事費

企業会計へ移行

条例制定
令和2年度

簡易水道・下水道事業

■条例制定の理由
令和2年4月1日より

簡易水道並びに下水道事業に地方公営企業法に規定する財務規程等を適用することに伴い、新たに簡易水道並びに下水道事業の設置等に関する条例を制定。地方公営企業の設置及びその経営の基本に関する必要な事項を定める。

独立採算を目指す

問 これまでの事業運営と変わる点は。

答 官公庁会計（特別会計）から公営企業会計へ移行することにより、会計処理方法が複式簿記による会計事務となり、財務状況が明らかになる。

問 公営企業としての独立採算を目指す。

答 水道料金並びに下水道使用料の見直しはあるのか。

問 料金改定は、会計移行後、財務状況

等が見えた段階で、検討する。

受益者の公正負担の原則や経営健全化に万全を期したい。

問 簡易水道の給水範囲を広げることができないか。

答 簡易水道区域に隣接する方には、個別に検討する。

問 水道施設整備基金の扱いは。

答 基金に関する条例は廃止し、基金残高は原価償却費等の内部留保金として考えている。

問 一般会計からの繰入金の方法は。

答 町からの出資金という形で処理したい。

問 一般会計からの繰入金の方法は。

答 町からの出資金という形で処理したい。



△公営企業会計に移行する下水道浄化施設

条例制定

会計年度任用職員

■条例制定の理由

地方公務員及び地方自治法の一部を改正する法律が、令和2年4月1日から施行されることに伴い臨時職員、非常勤職員を「会計年度任用職員」制度へ移行するもの。その給与及び費用弁償に関する条例を制定する。

臨時・非常勤職員対象者約50人

問 一般（正規）職員と臨時や非常勤職員との人数は。

答 一般職員は109人。臨時、非常勤職員は、一般事務、保育

士、保育補助員、保健師、調理師、道路維持、集落支援員、地域おこし協力隊、社会教育指導員、教育コーディネーター、きめ細やかな学校教育職員など約50人。

問 フルタイム及びパートタイムで雇

答 職務内容の区分けはない。

問 勤務時間は、フルタイムの場合は、一般職員と同様。パートタイムは、2通りで1日6時間、週30時間と、1日7時間で想定している。

問 任用職員の採用方法と雇用期間は。

答 1月から公募し、2月に選考。4月1日から正式任用とする。期限は制度上、1年単位となる。

問 フルタイム、パートタイムによる処遇内容は。

答 フルタイムには、給料、各種手当、期末手当等が支給される。

パートタイムには、報酬、各種手当相当報酬、期末手当等が支給される。

条例制定

■印鑑条例の一部改正

女性活躍推進の観点から住民基本台帳法施行令

により、住民票の記載事項として旧氏が定められたことから印鑑登録証明書にも旧氏を併記することができるとができる。



旧姓：山田



活動レポート

①

12月20日

若者・女性に 選ばれるまち

最初に、町総合計画推進委員会委員長 大杉覚氏（首都大東京大学院社会学部研究科教授）より、次期総合計画の骨子である●多様性の重視。●SDGs「誰一人として取り残さない」持続可能な開発目標。●地域共生社会の実現。●若者・女性の着目。●「選ばれ

る地域」創発可能性地域の視点などの説明を受けて懇談。

各グループでは、①希望がかなえやすい地域か。②*サーバントリーダーと呼べるリーダーを育てるために何が必要かなどが話し合われました。

今後、加速することが見込まれる少子高齢化社会のまちづくり。次期町総合計画策定に係わる総合計画推進委員（委員17人）と町議会議員との懇談会を開催しました。

4つのグループに分かれ、「人口減少社会と若者・女性に選ばれるまちづくり」をテーマに意見交換。課題や今後の取り組み方針を共有することができました。



△若者・女性に選ばれる町ビジョンが話し合われた懇談会

町政調査会報告

どうあるべき 災害時支援対応

建設業協同組合と意見交換

活動レポート

②

11月8日



△災害時支援対応などが確認された建設業との意見交換会

昨年に続く、建設業協同組合と町議会議員との意見交換会を開催しました。

東日本大震災から9年が経過するなかで復旧工事も少なくなってきました。計画的で継続的な町内工事の発注を望む声が寄せられました。また、最近の自然災害が発生するなかで、迅速な災害復旧には、連携が欠かせないことを確認し、大型重機の手配などのあり方が話し合われました。

議員発議

◎国際リニアコライダー（ILC）誘致実現を求める意見書

岩手、宮城両県の北上山地が建設候補地とされる国際リニアコライダー（ILC）計画は2020年、重要な局面を迎える。ILCは、東日本大震災からの復興と発展、持続可能な社会創出の大きな力となる。北上山地への誘致実現に向けた推進組織体制を早期に整えることを国の関係機関に要望するもの。

国際リニアコライダー（ILC）

地下約100mのトンネルに直線型加速器（初期整備延長約20km）を設置し、宇宙創成の謎を解明しようとする国際プロジェクト。日本の誘致方針が決まった場合、準備期間を経て早ければ2032年ごろの本格稼働が見込まれる。



町政課題に積極的な声

鳥獣被害対策

Q クマやサルの被害が大きくならないように早く対策を講じるべき。

(川口)

A クマやサルは、事前に捕獲、駆除はできないので、電気柵の設置や追い払いなど継続して取り組んでいく。地域の方のご理解をいただきたい。

Q サルの駆除はどうすればいいのか。業者を扱っているレーザーで目は狙う装置の効果や費用はいくら位か。(大洞)

A サル対策は、追い払いながら、サルにとって住みにくい環境をつくっていくことが必要といわれている。

レーザーは世田米中沢で

試験的に行っている装置である。設置の費用と効果の関係は検討が必要である。

Q 鳥獣被害対策には、とにかく困っている。特にサルの被害がでている。何とかすべき。(中沢)

A サルの生態や習性を知る研修会を12月5日に開催した。要望があれば各地区で講習会を開催することができ。



△新たなサル対策を望む声が多かったが...

保健・福祉

Q 75歳までの一日人間ドック補助金の年齢を引き上げられないか。(川口)

A 一日人間ドックは、働き盛りで、病気が発症しやすい世代である35〜75歳を助成対象とし、受診勧奨している。75歳以上の方は、病気が慢性期に入っている方が多いので、総合検診で実施する後期高齢者検診を受診していただきたい。

Q 介護保険料や介護利用料の負担が重い。負担を軽減できないか。(坂本)

A 現在の介護保険料は、第7期町老人保健福祉計画・介護保険

「住民と議員との懇談会」開催状況

開催日	自治公民館名	出席者(人)		
		男	女	計
11月15日	川口公民館	7	4	11
11月16日	五葉中自治公民館	10	8	18
11月16日	大洞自治公民館	5	2	7
11月19日	火の土自治公民館	6	2	8
11月21日	月山公民館	5	4	9
11月21日	中沢自治公民館	16	6	22
11月22日	愛宕公民館	9	1	10
11月22日	坂本自治公民館	10	2	12
8会場		68	29	97



△暮らしに根付いた意見が多く挙げられた五葉中会場

事業計画の中で定められている。令和2年度には、第8期計画の策定作業に取り組み。介護サービスの見込みや介護給付費の推計により、計画策定委員会の同意のもと、将来を見据えた適正な介護保険料を設定したい。

公平な行政サービスを求めて

道路改良

Q 国道340号線の天風から高瀬間の歩道整備と竹ノ原バス停留所付近のカーブ改良・整備を要望する。(川口)

A 県では、要望の箇所は、早期の整備は難しい。今後の交通量の推移や公共事業予算の動向を見極め判断していくとのこと。町としては、早期の改良を要望していく。

Q 県道釜石住田線に係る県予算措置がされたと聞けが、具体的用途を把握しているか。(五葉中)

A 県では、通称「おとし」を含む区間の道路整備の検討、「おとし」の法面対策のため、の用地測量とのこと。今後も早期改良を要望していく。

の道路整備の検討、「おとし」の法面対策のため、の用地測量とのこと。今後も早期改良を要望していく。



△国道と河川改修の要望が出された竹ノ原地区

Q 県道釜石住田線の道路改良が実現しない。災害時には、孤立する集落もあり、防災上も課題である。(大洞)

A 県では、未改良区間の早期整備は難しい。復興道路等のネットワーク完成後の道路需要変化も見極めながら、どのような改良整備が可能か総合的に判断していくとのこと。今後も早期改良を強く要望していく。

Q 気仙川の川口から上流(有住方面)も危険箇所がある。河道掘削や護岸改修が必要な場所があるか。(月山)

A 県では、災害の恐れのある箇所は、河道掘削や立木伐採を行っている。高瀬橋の河道掘削は工事中。竹ノ原カーブ護岸を含めた改修計画はない。気仙川と大股川に係る洪水浸水想定区域を公表しており、避難行動に活用していただきたいとのこと。

Q 町営住宅川向団地付近の車を減速させるスピードハンブを解除してほしい。(愛宕)

A 震災後、多くの車両が抜け道として利用していたため設置したものの。国道340号の整備も完了し、通行車両も減少したことから、交通量調査後に検討する。

公共交通

Q 高齢者の自動車運転免許の自主返納は、移動手段など利便性が確保されないと難しい。(坂本)

A 高齢者の運転免許自主返納は、高齢ドライバーによる重大な交通事故被害を未然に防ぐ手段である。免許自主返納は個人の判断となる

Q コミュニティバスの時刻がJR釜石線上有住駅の列車時刻と合わない。(五葉中)

A 運行ダイヤや各路線の接続を考慮し、総合的に検討する。

子育て

Q 共稼ぎの世帯から小学生の居場所が必要との声があるか。(坂本)

A 世田米地区では、世田米小学校児童を対象に保護者によって世田米学童クラブが運営されている。有住地区では、上有住地区公民館と下有住地区公民館に放課後子ども教室を開設している。開設時間外の子どもの居場所確保は、保護者による学童クラブ設置を検討願いたい。教育委員会は、その相談や支援を行う。

Q 住田高校への町内中学生の入学確保を。(月山)

A 町では、これまでの住田高校への教育振興補助金に加え、平成30年度から教育コーディネーターを配置し、住田高校の魅力向上に努め、学習や進路実現の支援を行っている。



△取り外しの声が出たスピードハンブ(町営住宅川向団地の町道)

まちのこえ

懇談会では、議会活動や町政に関する情報を報告、説明しました。

今回は、木工2事業体債権回収、防災、観光、公共交通、医療・福祉、道路の改良整備など幅広く意見交換が行われました。

災害対策

令和元年10月に発生した台風19号の対応でも多くの教訓や意見が出されました。台風の大型化や豪雨が頻発する中、町民の命と生活を守る防災・減災の重要性が問われました。

Q 災害時、公民館への避難にあたって、川口橋を渡らなければならぬ。住田高校も避難所に指定できないか。(川口)

Q 洪水時、五葉中自治公民館が避難所となるが、トイレなど改善の余地がある。避難所としての施設整備が必要ではないか。(五葉中)

Q 避難所に指定されている公民館集会所が土石流危険箇所(防災マップにも登載)になっていないにもかかわらず、避難者受け入れの要請があったが、危険と判断し開所しなかった。(坂本)

A 命を守るためには、自助・共助の割合、公助1割と言われている。防災福祉マップづくりなど地域との協働で避難所の検討などに取り組みたい。

Q 大雨特別警報が発令され、大雨・洪水警戒レベルが最高の5に相当し避難勧告も発令された。

A 命を守るためには、自助・共助の割合、公助1割と言われている。防災福祉マップづくりなど地域との協働で避難所の検討などに取り組みたい。



△台風19号での避難所(役場交流プラザ)

避難行動が分からない人がいた。(中沢)

Q 避難行動マニュアルのチラシを全戸配布しているが、自主防災組織と協力しながら、周知したい。

Q 災害対策本部より、地域の状況などの情報提供を求められた。直接現地を確認し情報収集する必要はあるのでは。(大洞)

A 地域や消防団、関係団体との情報収集のあり方を検討する。

Q 災害時に備えて、国道、県道、町道などに加えて林道も迂回ルートとして整備を考へるべき。(月山)

A 国道、県道が寸断される災害では、林道も危険であり、主要路線の早期補修を図る。林道は、森林整備・保全において必要であり、今後も適切な管理に努める。

観光

Q ①大洞地域は、釜石自動車道・滝観洞インターやJR釜石線・上有住駅など、魅力的な資源を生かし切れていない。抜本的開発を検討すべき。②SL機関車を見学できるように、JR釜石線上有住駅周辺の線路法面の樹木伐採はJRに要望を。(大洞)

A ①本町の重要な観光地である滝観洞が立地している。観光センターやその周辺の生かし方などは、住田観光開発株式会社や、地域の方々との総合的に検討したい。②線路法面の樹木伐採は、JRに要望する。

Q 滝観洞の誘客の取り組みを進めて。(大洞)

A 洞内へのLED照明の設置、看板や広報事業を展開。台湾からの誘客を目指し、気仙地域の連携し、観光コースの設定を進めている。

A 聞き取りやすいようにスピーカー4台と、マイクを2本交換し、改善を図った。(月山)

公共施設



△今後も景観整美を進めたい滝観洞沿線

Q 旧下有住小学校(応急仮設住宅中上団地)跡地の活用は、地域との協議で。(月山)

A 令和2年度に地域との協議を踏まえて、整備方針を決定する予定。役場内部においても専門家を入れたデザイン会議で検討を加える。

Q 役場町民ホールの音響は、聞き取りにくいので改善を。(月山)

A 聞き取りやすいようにスピーカー4台と、マイクを2本交換し、改善を図った。(月山)

住民と議員との懇談会

木工2事業体

三陸木材高次加工協同組合と協同組合さんりくランバーの計10億円超に

及び債権回収問題は、町の重要課題であることから関心も高く、多くの質問と意見が出されました。

Q 2事業体に対する債権回収の経過と対応はどのように進んでいるか。

A 両事業体に、今後の返済計画や事業体経営のあり方など具体的な明示を求め、公認会計士による両事業体の財

務・事業調査報告書が提出された。

町では今後、顧問弁護士や公認会計士の意見をもとに、対策チーム、議会との協議により、方向性が見えた時点で、町民の皆さんに説明をし、理解を求めたい。

Q 2事業体での雇用と地域経済効果をどのように捉えているか。

A 雇用人数は、三木40人、ランバー17人。本町が林業を中心とする町づくりを推進する



△木工2事業体の債権回収対応をはじめ、様々な意見が交わされた中沢会場

中核的施設である。また川上から川下までの木材流通システム充実を進めるために欠かせない施設である。

Q 今後の木工団地の運営をどのように考えているか。

A 現在、けせんプレカット事業協同組合の協力を得て、事業継続している状況である。木工団地内の3組合が連携し、事業が存続できるよう協力していきたい。

Q 町有林の納入先は、(坂本) 町有林の皆伐、間伐は委託事業として実施し、委託業者が出荷先を決めている。ランバーを含めた町内、管内の製材所及び合板、バイオマス関連事業所へ販売している。

Q 分収造林の伐採販売がなかなか進ま

林業

Q 町内の外国人労働者の受け入れ状況は。

A 現在、100人程度を雇用している。

Q 各学校で地域創造学などの取り組みを行っているか。(坂本)

A 保育園、小学校、中学校、住田高校の各学校とも地域資源を生かし、年代別の成長を意識した取り組みが行われている。

Q 中山間地域直接支払交付金事業や多面的機能支払交付金事業を実施しているが、加入者が高齢化して共同作業が困難になってきているが、事業継続の見通しはどうか。

A 地域で話し合いながら、現在の制度を有効活用し、今後も取り組んで欲しい。

A 分収造林は、森林組合で毎木調査、材積計算などを行い、入札する流れとなる。早期に処分できるよう森林組合と協議を進めていく。



△木材の価格引き上げに期待の声…

その他のご意見

Q 中山間地域直接支払交付金事業や多面的機能支払交付金事業を実施しているが、加入者が高齢化して共同作業が困難になってきているが、事業継続の見通しはどうか。

A 地域で話し合いながら、現在の制度を有効活用し、今後も取り組んで欲しい。

Q 中山間地域直接支払交付金事業や多面的機能支払交付金事業を実施しているが、加入者が高齢化して共同作業が困難になってきているが、事業継続の見通しはどうか。

A 地域で話し合いながら、現在の制度を有効活用し、今後も取り組んで欲しい。

Q 中山間地域直接支払交付金事業や多面的機能支払交付金事業を実施しているが、加入者が高齢化して共同作業が困難になってきているが、事業継続の見通しはどうか。

A 地域で話し合いながら、現在の制度を有効活用し、今後も取り組んで欲しい。

一般質問

12月
定例会

一般質問は、議員が町長などの執行機関に対し、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などを聞き、報告や説明を求め、疑問点をたずねること。また、議員が主義、主張を述べ提案し論戦します。一般質問の方法は、1回目は一括して質問しますが、2回目以降は1問ずつ質問する1問1答方式を採用しています。制限時間は答弁を含めて60分です。

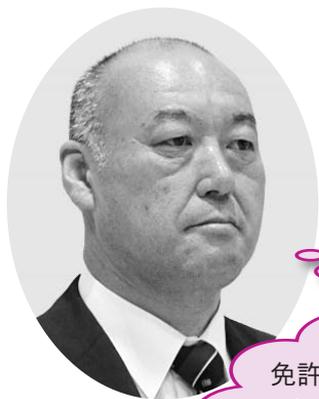
12月定例会では、7人の議員から18件の一般質問が行われ、町政全般について2日間にわたり活発な議論が展開されました。質問と答弁を要約した内容は10～17ページでお知らせします。

なお、全文記録（議事録）は、2月下旬から役場庁舎2階の総務課と町ホームページ上で閲覧できます。

我が町政を問う

子育て・昭和橋・滝観洞 防災などで論戦

ページ	質問者(登壇順)	質問項目
11	荻原 勝	①昭和橋架け替え ②交通安全対策
12	阿部 祐一	①防災対策 ②産業振興
13	村上 薫	①木工2事業体の債権回収 ②防災対策 ③SDGs（エスディーゼーズ）と次期総合計画
14	水野 正勝	①放課後児童クラブと放課後子ども教室 ②いきいき岩手結婚支援センター「i-サポ」 ③子ども議会
15	林崎 幸正	①CLT（直交集成板）工場の誘致 ②木工団地2事業体の未償還金等への対応 ③滝観洞の再開発
16	佐々木 信一	①災害対策 ②滝観洞エリアの再開発
17	佐々木 春一	①自然災害と防災 ②感染症対策の充実 ③公共施設等総合管理計画



議員のつぶやき

免許自主返納、更新しない高齢者に、なんらかの支援策を考えては。

「昭和橋」 詳細設計の決定は

町長／検討委員会の 提言を尊重



△町民に一般公開し開催された昭和橋景観検討委員会

問 昭和橋景観検討委員会の協議内容が、どのような形で、どの時点で反映され、詳細設計の決定に至ったのか。

町長 全5回に渡る協議結果を提言として尊重し、架け替えに係る詳細設計段階まで進めてきた。

問 今後、町民すべてが安心して心地よく架橋を推進するためにも、丁寧な説明が必要では。

町長 昭和橋景観検討委員会は公開とした。その協議結果は、全世帯配布の「住田整備事務所だよ

り」やホームページで周知した。県と町が一体で、丁寧な説明をしてきたと考えている。

問 仮設橋は歩行者専用道であり、冬場の凍結対策など安全を重視した構造にすべき。

町長 仮設橋は安全基準を満たしたものとなる。県と町で、冬季間の融雪剤散布など安全面に配慮し、適切に管理していく。

問 仮設橋工事費の、県と町の負担割合は。

町長 現在、協議段階で決まっていない。

子どもの事故防止強化策は

交通安全教室、合同点検を実施



△安全点検を行う交通安全協会の皆さん

問 子どもたちが被害者となる交通事故が多発している。交通安全対策をさらに強化すべき。

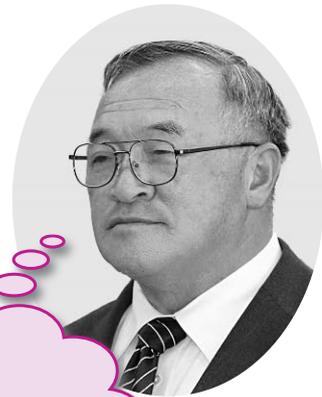
教育長 町内すべての小中学校と保育園において「交通安全教室」を実施している。小中学校の通学路、保育園の散歩コースも「合同点検」を実施している。

問 高齢者の交通安全対策を推進する。

策の推進において、運転免許証を返納しやすい環境の整備が必要では。

町長 高齢者を含めた交通安全の啓発活動に加え、高齢者の運転免許証の自主返納や、返納しやすい環境の整備に取り組む必要がある。

今後、通学路の安全確保のため、関係者と連携して対策を推進する。



議員のつづやき

それでも心配だなあ

すみた荘護岸の 高上げを

町長／すでに「70年に1度」 規模で築堤

規模で築堤

問 特養すみた荘では、台風19号で、早めに世田米中学校に避難した。避難が長期化した場合の課題をどう捉えているか。

町長 長期化した場合、食事面からは、刻み食やトロミ食が必要な方もいるため、十分な質と量の食事の確保が課題となる。

ライフラインが止まった時の発電機や燃料、水の確保、感染症予防、温度管理、衛生管理、さらに学校教育活動への影響などが課題である。

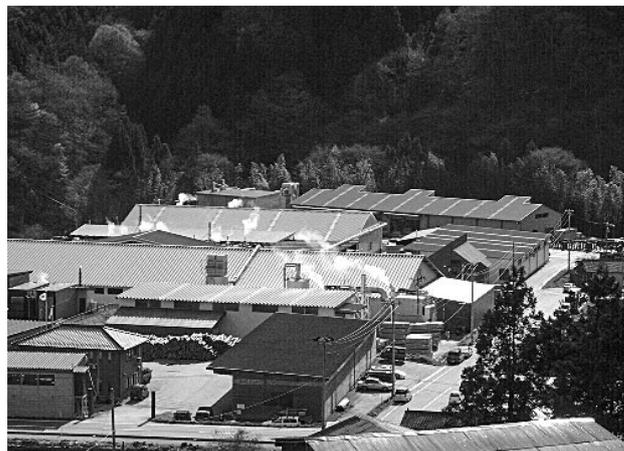


△台風19号で世田米中学校体育館に避難したすみた荘入居者（10月12日）

問 すみた荘は気仙川に隣接している。洪水対策として、護岸のさらなる高上げが必要と思うがどうか。

町長 気仙川全体では「30年に1度」規模の洪水を想定した河川掘削、河川整備が進んでいる。すみた荘沿いの築堤はすでに、より安全度の高い「70年に1度」の規模で整備されている。

経営分析書にどう対応 公認会計士に精査依頼



△財務事業調査報告書がどのように生かされるか木工団地

問 9月末に木工2事業体からを受理した財務・事業調査報告書にどう対応するのか。

町長 受理した財務・事業調査報告書は、町が依頼した公認会計士に精査を依頼し、12月中にも報告を受ける。ただし、今後の返済方法や経営計画が示されていないので、再度早期回答を求める。それを受け対策チームと議会で協議し進める。

問 平成19年度に多額

の融資が必要になった責任は、理事と連帯保証人が一緒になって果たすべきと思うがどうか。

副町長 木工2事業体に再度提出を求めている経営改善計画書の中で明確になるものと考えている。

問 融資した町にも責任があると思うがどうか。

副町長 産業及び林業の振興、雇用確保の面を考慮して、議会とともに判断しながら融資に踏み切った。



町長任期1年前
(今年7月)を目途に
結論を出せるか、
これからが正念場

議員のつぶやき

どう果たす 説明責任

町長／機会を捉え 町民に説明

我が町政を問う

村上

薫 議員



△「日本一」の目標にどう向かっていくか

問 9月末に木工2事業体から同事業体が依頼した公認会計士の財務・事業調査報告書が町に提出された。その内容は、**町長** 理事長、理事等からの聞き取り、関係帳簿書類及びデータの閲覧・分析調査、組織の変遷、損益計算書や貸借対照表から見る窮境原因、財務分析が示されていた。**問** 当初求めていた今後の事業運営方針や具体的な支払計画の提出はあったのか。**町長** その提出はなかった。再度早期回答を求めている。

問 事業体から提出された財務・事業調査報告書の取り扱い。**町長** 町が依頼した公認会計士に精査をお願いし、12月中にも報告を受けることになっている。**問** 今後の対応をどうするののか。**町長** 事業体からの報告内容を含め、町顧問弁護士や町依頼公認会計士等の意見を整理し、対策チームや議会と協議し進めていく。**問** 2事業体に対する「新たな融資、立木未収金を発生させない」ことが議会、町当局との合意事項であるが、変わりはないか。

災害復旧へ関係業者と連携を 協定締結も有効な手段



△復旧作業には、土砂、流木撤去に林・建設業の重機、オペレーターが欠かせない

町長 そのとおり変わりはなく。**問** 町分析後の町民への説明責任をどう果たすか。**町長** 機会を捉え説明し、進めていきたい。

問 台風19号で初の警戒レベル4、5が発令された。どの様な課題があったのか。**町長** 現在、全職員による当日の行動記録を検証し、課題の洗い出しをしている。指揮命令系統の整理や情報共有のあり方が課題。避難所の運営にも意見が寄せられている。

問 迅速な災害復旧には、林業や建設業者との連携が欠かせない。現状どう対応しているのか。**町長** 防犯リーダー養成の重要性は十分認識している。防災士や防災マイスター養成は、広域で取り組んでいく。

問 今後の対応は。**町長** 現在、協定は締結していないが、大規模災害への備えとして、協定締結も有効な手段と捉えている。

問 災害時の自助・共助の観点から防災教育はより重要になっている。防犯リーダーの養成は。**町長** 防犯リーダー養成の重要性は十分認識している。防災士や防災マイスター養成は、広域で取り組んでいく。

放課後子ども教室の 充実は

教育長／学童クラブの 設立を支援



議員のつぶやき

子ども達は、
住田の宝物



△放課後子ども教室で過ごす有住小学校児童

問 有住小学校区の放課後子ども教室では、土曜日や長期休業中における子ども見守り支援が保護者のニーズに応えきれない現状もある。開設時間と職員体制の充実を考えては。

教育長 放課後子ども教室の設置目的は平日の放課後の居場所確保である。土曜日は、地区公民館図書室を利用して、長期休業中は、状況に応じて時間を変更している。

がら開設している。今後現在の体制と開設時間で継続していく。

問 社会福祉協議会や高齢者福祉施設事業者との連携を図り、仮称「こどもデイサービス」に取り組むのはどうか。

教育長 国における待機児童解消の方針や住民と町との協働推進の観点から、保護者で設置運営する学童クラブの設立を支援していく。

問 いきいき岩手結婚支援センターi-サポへの登録加入促進のために、詳細な活動情報の発信や入会登録料の支援を行うべきだがどうか。

町長 来年度から始まる大船渡市との定住自立圏の取り組みでは、大船渡市内にある結婚相談支援センターの利用対象者を本町まで拡大する計画がある。その周知・PRに努めていく。

i-サポ登録料の助成

も行う。

問 「地域創造学」のさらなる飛躍と成果が期待できることから、子ども議会や中高生議会の開催を検討してはどうか。

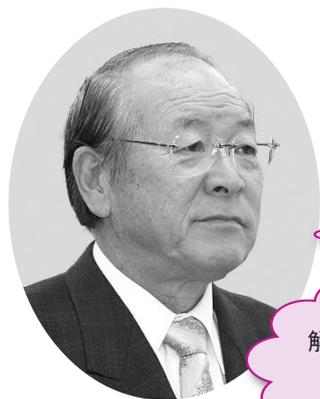
教育長 地域創造学で取り組む探究活動における児童生徒の提言の場の候補の一つとなり得るものと考えます。

児童生徒が地域や社会とのつながりを深める現実的な学習を進める上で有効な機会でもある。

登録料を助成



△結婚相談支援をすすめる「i(アイ)ーサポ奥州」



解決できるか
償還金問題

議員のつぶやき

町長／林業振興・雇用に期待

CLT積極的な
誘致行動を

我が町政を問う

林崎幸正議員

問 これまでのCLT工場誘致の取り組み経緯は。

町長 住宅関連企業が、CLT工場建設を検討している話を受けたことから、林業事業体とともに企業との話し合いを重ねてきた。現在もCLT工場の誘致実現に向け、誘致場所や各種条件などを含め協議中である。

問 木工団地の安定経営に向けて、CLTが必須と考えるが。

町長 当町は原木資源に恵まれる。原木調達から



△新たな建築資材として期待されるCLT材料

板材製造、集成材製造プレカットによる住宅建設に取り組んでいる。そこにCLTが加われば地

元企業の木材流通における幅が広がる。当町の林業振興や雇用の創出、活性化につながる。

問 木工団地2事業体の未償還金など対策チームの検討状況は。

町長 これまで10回の検討会を開催し、事業体の動きや決算の状況など協議を行ってきた。事業体から提出があった財務・事業調査報告書には、未償還金の返済や今後の経営計画が示されていないことから、再度その回答を求めている。町では提出された財務・事業調査報告書を公認会計士に精査をお願いしている。

問 今後木工団地2事業体の未償還金回収をどう進めていく考えか。

町長 町の顧問弁護士や

公認会計士の意見を整理し、対策チームと議会と協議しながら進めていく。

県道釜石住田線の早期改良を 重点項目として県に要望



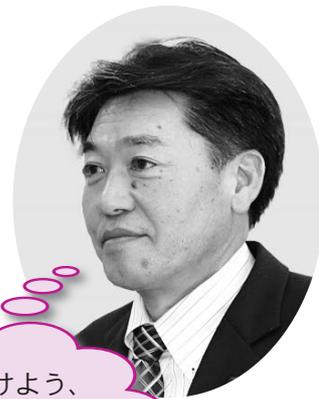
△早期改良が待たれる水害多発地域と狭い県道

問 県道釜石住田線の道路改良と今後のスケジュールは。

町長 県では、小松く中峠間の道路概略設計と中峠（通称「おどし」）の測量調査を実施したが、抜本的な改良に向けた設計に至っていない。県からスケジュールは示されていないが、道路改良の早期着手に向け、町の重点項目として県に要望活動を進めていく。

問 老朽化した滝観洞観光センターを温泉も備えた施設に建て替えを。

町長 これまでも、再開発を検討した経緯はあるが、費用の面などから全面的な再開発を保留し、すぐに取り組める施設の補修や改修に努めてきた。早急な建て替えは難しいが施設の将来性や安全性などを含め、施設の在り方など総合的に検討する。



議員のつぶやき

気をつけよう、災害の備えを忘れないように。

状況に応じた避難場所を

町長／自助の考えで最善の行動

問 時間帯や雨量の状況に応じて、避難場所を設定してはどうか。

町長 基本的には町民の避難行動を混乱させることがないよう、また、限られた施設や人的な資源を効率的に活用する観点から、避難場所が大きく変わることはないものと認識している。「自分の命は自らで守る。」という自助の考えのもと、その場面、場面で最善の行動をとっていただきたい。

問 すみた荘では、今回、世田米中学校体育館に、

前日に避難をした。この避難行動を町としてどのように捉えているか。

町長 事前の移送計画や家族会の協力等もあり円滑な避難ができたと思えている。今後もすみた荘、福祉担当課、防災担当課で協議し最善の避難行動を判断する必要があると考えている。



△台風19号で増水したすみた荘付近の気仙川

△台風19号で増水したすみた荘付近の気仙川

断することが必要と考えている。

問 災害対策強化のため、大股川との合流地点にも監視カメラを設置すべきでは。

町長 県が、川口橋付近と、高屋敷に監視カメラを各1台ずつ設置。さらに気仙川に2箇所、大股川に1箇所を設置する計画がある。現状において監視カメラの増設は考えていない。

問 災害時や捜索活動に、消防団ヘドローンを導入すべきと思うが。

町長 本年度大船渡消防組合で、運用機1台、操縦訓練機2台を導入する計画。年度内に、職員に操縦資格を取得させる。

滝観洞エリアの整備を早期にあり方を検討



△滝観洞観光センター周辺の整備を望む声があるが…

問 滝観洞観光センターは、築47年経過し、老朽化が進んでいる。早期の改築の考えはないか。

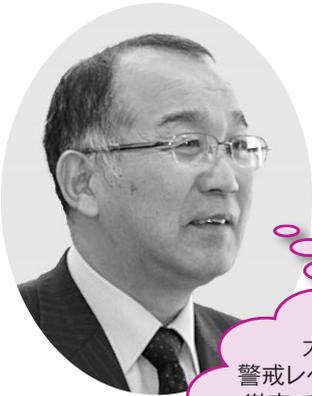
町長 これまでも、再開発の検討をした経緯はあるが、費用の面等から施設の補修や改修に努めてきた。センターの改築は、施設を運営する住田観光開発株式会社と協議しながら、早い段階で今

令和2年度から、本町でも、災害時の情報収集や捜索活動にドローンが活用できる。

後の施設のあり方を総合的に検討したい。

問 滝観洞エリアに桜やツツジ、バラなどの庭園を整備し観光客の増加を図ってはどうか。

町長 観光協会と住田観光開発株式会社と今後の滝観洞の運営を考える中で様々な視点で検討したい。



大雨・洪水
警戒レベル「5」を発令。
徹夜で警戒にあたった
消防団や福祉関係者に
感謝、感謝…

議員のつぶやき

「災害弱者」の 受け入れ検証を

町長／職員体制も課題

我が町政を問う

佐々木春一 議員

■国の避難勧告等に関するガイドラインの改定により
**土砂災害・洪水・浸水害に関する
避難情報の伝え方が変わります。**
今後は5段階の「警戒レベル」を用いて避難情報を発令します。

警戒レベル 4の対象地区は**全員避難!!**

警戒レベル 1	警戒レベル 2	警戒レベル 3	警戒レベル 4
心構えを高める (気象庁が発令)	避難行動の確認 (気象庁が発令)	避難に時を要する人は避難 (住田町が発令)	安全な場所へ避難 (住田町が発令)
		高齢者等は 避難しにくい	全員避難!!

※警戒レベルは5段階となり、警戒レベル4以降に避難が発生している状況で発令します。

■住田町からは、次の内容で避難行動を呼びかけます!!

△災害警戒レベルによる避難行動が示されたチラシの活用を

町長 森林は、土砂災害防止や水源涵養（かんよう）などの公益的機能を有している。防災の面からも森林施業の負担軽減など持続的・計画的な山づくりを図る。

予防接種全額補助を
気仙管内統一で対応

問 任意予防接種であるロタウイルス、小児インフルエンザワクチンは、自己負担なしの全額補助を。

町長 ロタウイルスは、生後6週から24週未満の乳児が対象。気仙管内で接種すれば自己負担なしで接種できる。小児インフルエンザワクチンは、生後6カ月から中学3年生まで対象。1回につき2000円の助成をしている。自由診療であり、応分の負担に理解を願う。

問 高齢者インフルエンザワクチンの定期予防接種が、医療機関によって自己負担に差がある。自

問 大型で強い台風19号の接近を受け、避難勧告が発令された。「災害弱者」である高齢者や障害者に対応する「福祉避難所」の課題は。

町長 福祉避難所は、町社会福祉協議会と社会福祉法人鳴瀬会（すみた荘）との間で協定を締結し、4カ所の社会福祉施設を指定している。避難所として安全な施設か。避難者の受け入れ対応。燃料や食料などの運営経費。福祉避難所の指定や受け入れ体制が課題である。

問 最大雨量「千年に一度レベル」も公表された。ハザードマップや地域防災計画を見直すべきだが。

町長 住田町版「防災マップ」、みんなの防災手帳を全世界に配布している。防災減災対策は、重要課題であり、「自助・共助・公助」、ハード・ソフト対策を検証し、自主防災組織との連携のもと積み上げていく。

問 土砂崩れや洪水被害など防災の面でも、山林（森林）の保全が重要であるが。

町長 医療機関によって薬品納品単価など予防接種料は異なり、自己負担額の一律は難しい。助成額は気仙管内統一し、2000円としている。

**生改センターの改築は
来年度整備検討**

問 図書室などが入る生活改善センターは、雨漏りや水道の通水不良が散見される。具体的な整備計画は進んでいるか。

町長 生改センターは、じめ役場周辺施設は、老朽化や利用率の低下があり、今後どのように活用していくか見いだしている。整備計画の検討は、令和2年度に実施予定。

その他の質問

- ・ 応急仮設住宅中上団地 供用終了後の旧下有住小学校跡地活用
- ・ 福祉施設の改修・改善

己負担額を一律にできないか。

一般質問その後 どうなりました

あの提言

特集

町と、議会と、町民は
68

一般質問は、議員に与えられた重要な権限の一つですが、ここでは、一般質問のその後「どうなりました あの提言」として、過去の一般質問や議案審議などが町政にどう反映されているのかお知らせします。

掲載内容は、平成18年以降の質問から議会広報編集常任委員会で1項目を選び、その後の状況などを追跡しました。

質問

昭和橋 架け替えどき

昭和橋は老朽化し、幅員も狭く、小学生の通学や歩行者に危険である。

洪水対策の面からも架け替える時期だが。

答弁

交通安全、 洪水対策上も 早急に

洪水被害対策上も架け替えは急ぐべきと認識。工事設計に向けては、住民の声を聞き、町と県で連携して進める。

その後



△景観検討委員会での意見集約で示された新橋のイメージ図
名称はどうするか…

景観検討 委員会で協議

これからが
大事

町民代表と有識者による景観検討委員会で協議を重ね、架橋位置、幅員、橋梁など歳並との景観を配慮した設計で進める。

- ・昭和橋架け替え工事期間(予定)
仮橋設置 令和2年2月頃～
橋梁工事 令和2年度後期～
令和4年度完成予定

新たな時代へ 思いを共有

新年交賀会

1月6日、令和最初の仕事始めを迎え、年頭あいさつとなる新年交賀会が開かれました。産業、行政、教育、議会などの各界関係者約140人が出席。新年を祝うとともに、人口減少や少子高齢化などさまざまな困難を乗り越えながら新し

い時代を築く思いを共有し合いました。千田明夫町商工会長が主催者を代表してあいさつ。神田謙一町長、瀧本正徳議会議長が続き、山積する地域課題の解決に、官民一丸となって地域振興に向けて思いを一つにしました。



△約140人が出席した新年交賀会

追跡



私の意見を 聞いて!

趣のある昭和橋

ともこ 佐賀 さん

(世田米川向)

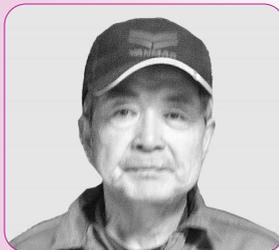


昭和橋の架け替えを知り、慣れ親しみ趣のある橋がなくなると寂しいですが、理由を知りもつともだと思いました。大きな災害が多発する昨今、本町も影響があるのではと危機感を持っていました。自然の猛威の前で、人間は無力に思えますが、事前に災害の備えをすれば、被害を減少出来るはずです。昭和橋の架け替えはその一つだと思います。新しくなる橋は、一車線2歩道になると聞いています。完成が待ち遠しいです。

一日も早い架け替えを

きんや 佐藤 公也 さん

(上有住字上家)



昭和橋は、大雨や台風のために、浸水被害や橋への負担が心配されてきました。今回の架け替えによって橋脚数の見直しや護岸整備も行われるとのことので安心していきます。世田米商店街での火災や救急時には、昭和橋は住田分署から最短距離の道になります。町民の安全安心のためには、なくてはならない大事な橋です。一日も早い架け替えが実現されることを願います。

傍聴に

来てけらっせん!!

次回の定例会は2月25日(予定)から
開会は10時です。

詳しくは議会事務局へ ☎ 46-3754 (直通)
E-mail gikai@town.sumita.iwate.jp



世田米字向川口

吉田 栄子さん

私も ひとつ 甘口 辛口

85

下有住字中上

佐藤 寿次さん



道路環境の改善を

●今活動していることは
よりあいカフェ「しよ
うわばし」で地域ポラン
ティアをしています。

先輩方、仲間との交流
は自分も来るたびに楽し
くて、やりがいがありま
す。

●気になっていることは
川口交差点から向川口
バス停までの区間は、道

路も狭く歩道もないため
とても危険です。通学路
でもあり大型車が通るた
びにヒヤツとします。

この長年の課題が解消
すれば、町全体の活性化
になると思います。

●議会や町に望むことは
議会に女性議員がいな
いのは、少し寂しい想
いがします。



△川口交差点まで続く道幅の狭い国道340号

"光のアート" 家族の協力で

●今活動していることは
自宅にイルミネーショ
ンしています。12月から

1月に点灯、寒い冬の夜
間における風景を作り出
しています。家族の協力
による風物詩になれば
。キラキラと輝く光が
心を躍らせていただけ
ばと思います。

●気になっていることは

稲作の受託作業をして
いますが、年々受託面積
が増えています。一方で
経費がかさむということ
で米づくりをやめる方も
見受けられます。田んぼ
の荒廃が心配です。

●議会や町に望むことは
町民の小さな発想が生
かされるまちづくりを期
待します。



△寒い冬でも心温まる佐藤家のイルミネーション

表紙の写真

世田米保育園



1月15日、小正月の
伝統行事である「みず
き団子作り」が行われ
ました。

今年も年長組園児の
祖父母の方々と和やか
に交流しながら、色と
りどりのお団子や小物
をみずきに飾り付け、
玄関とホールに見事な
みずき団子飾りが出来
上がりました。
皆さんにとって健康
で、豊かな一年になり
ますように。

あとがき

▼新年おめでとうござい
ます。昨年は大変お世話
になりました。

▼今年は今和、2020
年。新たな年代の始まり
です。この10年をどうす
るか。私達の将来を大き
く左右するといわれてい
ます。

▼年頭に「幸せってなん
だろう」と考えさせられ
ました。家族の触れ合
い、健康、安心な社会。
人口減少が進むなか、あ
りようが問われます。
▼町の次期総合計画推進

委員と議員との懇談会が
開かれました。テーマは
「若者・女性に選ばれる
まちづくり」。進むべき
道への転換が求められる
年の始まりです。共に歩
んでいきましょう。
(佐々木春一)

発行責任者

議長 瀧本 正徳

委員長 菅野 浩正

副委員長 佐々木春一

委員 佐々木信一

委員 佐々木初雄

委員 萩原 正勝

委員 水野 正勝

広報編集常任委員会



すみた
議会だよりNo. 168

令和2年1月24日発行

発行/住田町議会
編集/広報編集常任委員会

〒029-2396 岩手県気仙郡住田町世田米字向川口88-1
TEL 0192(46)3754(直連) 内線511 FAX0192(46)2018
http://www.town.sumita.iwate.jp